

## PRAY・写真と美術 ～心をフォルテに～ 開催案内

### [開催趣旨]

3.11 の震災はあまりにも大きな出来事であり、今後も様々な報告が出てくると思います。

放射能汚染の次世代への影響、海水、大地汚染の人体への影響はどうなるのか。ニュースでの情報と専門家の指摘では大きく異なる事が多く、ベトナム戦争時の枯葉剤（ダイオキシン）による次世代への影響を現実を受け止めると今後の放射能汚染の行方は不安が付きまといまいます。

この一年は現実の状況を我慢し受入れてきた期間でした。

一年が過ぎた今、震災について「すべて」を語りはじめる事が必要と考え、被災者とこれからの世界を生きて行く子供たちに対して『祈り』をこめた「作品」をメッセージとして発信する事を目的とします。

これまで被災地には物資の援助が続けられている状況ですが、メンタルな側からも様々なイベントが行われていると思います。

本展は写真家、美術家、音楽家等アーティストの方々中心に集いますので、私たちに出来る事を考え企画する事が必然であると考えています。

先の大戦、原爆等の経験をされた方々は多くを語る事を拒む方がおります。

この震災の精神的影響も幅広く、深く心に記憶されているものと思われ、簡単には語り、説明することが難しい状態だと推測します。

只、この意識化する事が難しい個人的無意識状態の「こころ」は、自己とつながり「作品」を媒介として表現／意識化されると、本来の自己の姿が現れそれは万人に共通する形となり、こういう状況でありながらも未来へつながる美しさ、希望の心が生み出されると考えます。

『PRAY 写真と美術～心をフォルテに～』では写真・美術作品を通して震災について考えている／感じている「こころ」を改めて整理し、また再認識する事で未来を語り、解決していくきっかけとなればと企画致しました。私たちの思いが生み出したすべての「作品」は純粋な美しさの精神／魂／心が宿ります。そして、子供たちへ受け継がれて行って欲しいと願います。

みなさまには是非ご参加をお願い申し上げます。